

＜スタッフ紹介＞

役 職	スタッフ名
センター長兼副病院長 兼診療支援局長兼消化器外科主任部長 兼がん治療センター長	種村 匡弘

＜関連部署＞

部署名
看護局 外来
医療マネジメント課 相談支援室

＜特色と概要＞

当センターは、患者本人及びご家族の病気に対する疑問、悩み、更に治療方針に関する不安を患者及び家族に寄り添って一緒に解決していく相談窓口である。

がん相談支援センター

大阪府指定のがん診療拠点病院としての「がん相談支援センター」の役割を担い、がん診療に関連する様々な不安、悩み、心配の解決への支援を行っている。

相談支援室

がん以外の疾患に関する相談は「相談支援室」にて対応している。

上記は、当院通院中の患者及び家族だけでなく、他院診療中の患者や地域住民どなたでも利用できる。相談体制としては看護師、MSWが直接対面または電話で対応している。予約は不要であり、無料で利用できる。

2024年度の延べ相談件数(図1)は1,727件で、前年度より162件増加した。相談の疾患別では、がん関連が79%、がん以外の疾患は21%であり、がん相談に対する相談が大部分を占めた。相談者の71%が当院の患者または家族であり、29%が他院の患者、家族、地域住民等であった。

がん相談の臓器別では部位不明、乳房、大腸、肝・胆の順に多かった(図2)。相談内容の内訳は、がんまたは疾患に対する不安、精神的苦痛を筆頭に3,786件あり(図3)、1回の相談で複数件の相談を含んでいた。

相談員は患者、家族の不安や悩みを真摯に受け止め、問題を整理し、適切な情報提供や支援ができるよう心掛けている。治療方針で悩む場合は認定看護師によるインフォームドコンセントへの同席や看護外来を実施している。更に、がんの身体的、精神的苦痛に対しては緩和ケアチームや精神科と連携して対応している。

大阪府及び泉州がん相談支援部会では、課題や対応方法について協議している。また当院の相談員は国立がん研究センターの「認定がん専門相談員」研修に参加して最新の知識を得た上で患者、家族への対応を検討している。

＜実績＞

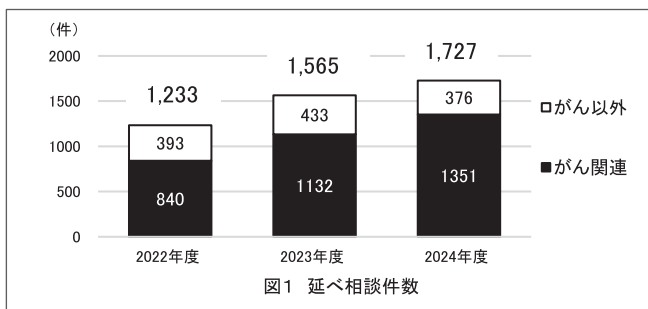


図1 延べ相談件数

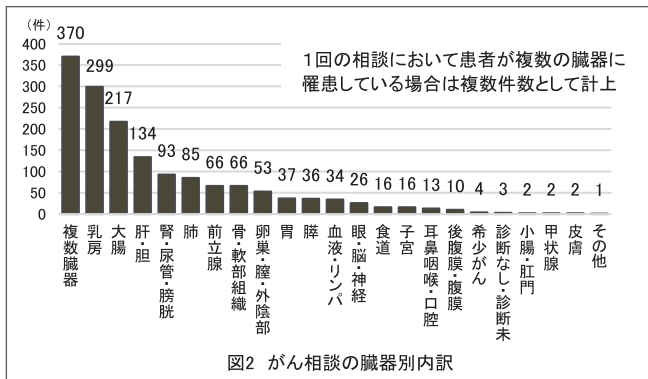


図2 がん相談の臓器別内訳

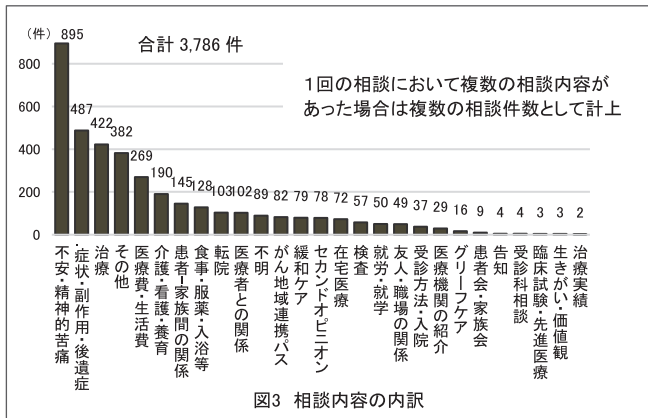


図3 相談内容の内訳

院外活動	
泉州がん拠点病院合同講演会	2024.10.19
泉州がん相談支援部会 がん患者サロンin泉州	2025.2.1
出張がん相談	2025.2.21

＜今年度の反省と来年度への抱負＞

2024年度は外来でがん告知を受けた全ての患者に対して、主治医、看護師ががん相談支援センターの存在と機能を案内し、患者、家族の不安や悩みに早期に対応できる体制を構築した。また定期的に外来とがんカンファレンスを行い、情報共有して支援のあり方を検討している。

院外では泉州地域のがん相談支援センターが協力してがんに関する講演会、合同がん患者サロン、出張がん相談を開催しがん相談支援センターの周知広報活動を行った。

来年度も患者家族の不安や悩みを聴きながら早期にニーズを把握、より適確な支援体制を構築していきたい。